

町長あいさつ



新年明けましておめでとうございます。令和8年の新春を迎えるにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。本年が町民の皆さま一人ひとりにとって明るく実りある一年となりますよう心からお祈り申し上げます。また、日頃より町政運営にご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

昨年は、町政運営の最上位計画である大野町第七次総合計画がスタートし、大野町にとって新たな一歩を踏み出した年となりました。8月には東海環状自動車道が県内全線開通となり、人・物・情報の流れが大きく変化し、県外を含む地域間の交流が一段と加速してまいりました。これにより、地域経済のさらなる活性化が期待される中、10月にはイビデン大野事業場が開所、また、商業施設や宿泊施設を併設した複合施設の整備も進んでおります。この、新たな雇用や地域の魅力向上につながる大きな契機を最大限に活かすべく、官民一体の取り組みを一層推進し、未来につながるまちづくりを引き続き進めてまいります。

その一方で、少子高齢化が急激に進んでいることも事実です。町の年間出生数が減少し続ける現在、町では「地域コミュニティの強化」「子育て支援」「教育環境の充実」に取り組み、町民の皆さまが安心して暮らし、子育てをすることができる環境づくりを進めております。4月には旧地区公民館を各地域の名称を引き継ぐ「ふれあいセンター」に移行しました。これまでの公民

館活動・生涯学習活動を継続しながら、地域コミュニティ活動の拠点として、地域の課題解決や地域協働のまちづくりを一体的に推進しております。また、令和8年4月に公立認定こども園「大野町みらいのこども園」が開園します。地域の子育て支援機能を充実させ、こどもの健やかな成長を促進することで、色とりどりの個性を持ち、“未来色”に輝くこども達を育てていきます。さらには、小中学校の再編に向け、次代を担うこどもたちにとって将来にわたり持続可能で最適な教育環境を確保し、地域全体でこどもたちを育む「みんなで創る学校づくりプロジェクト」の取り組みも進めてまいります。

結びに、今後も町の将来像「快適で 笑顔あふれるやすらぎのまち おおの」を実現するため「健康・福祉」「子育て・教育」「環境」「観光」「企業誘致」の5つの重点テーマに取り組み、町民の皆さまの暮らしに寄り添いながら、持続可能なまちづくりを進めてまいりますので、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

皆さまのご健康とご多幸を謹んでお祈り申し上げ、新年の挨拶といたします。

令和8年1月 大野町長 宇佐美 晃三



議長あいさつ



新年明けましておめでとうございます。令和8年の新春を健やかに迎えられましたことを心からお慶び申し上げます。

日頃は、町政の推進ならびに議会活動に対しまして、皆さまのご理解とご協力、そして温かいご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、大阪・関西万博が開催され、未来を担う技術や文化の交流が進むなど、新たな時代への歩みを感じる1年でした。また、歴史的な節目である戦後80年を迎え、平和の尊さと次世代への継承の重要性を改めて深く考える機会ともなりました。そして10月には、憲政史上初となる女性総理大臣が誕生し、新しい内閣が発足いたしました。このことは、性別に関わらず、誰もが活躍できる社会の実現に向けた大きな一歩であり、今後のさらなる前進が期待されております。

さて、大野町においては、5月にフラワー都市交流連絡協議会大野町総会が開催され、全国8都市よりお越しいただきました加盟都市訪問団の皆さまをお迎えし、花を通じた交流が行われました。また、東海環状自動車道の大野神戸インターチェンジと本巣インターチェンジ間が8月30日に開通いたしました。これによ

り、産業や観光のさらなる発展が見込まれており、町の新たな魅力発信の契機となるものと考えられております。

町議会においては、本会議及び委員会のペーパーレス化、タブレット端末を利用したオンライン化を学ぶため、熊本県大津町と御船町にて視察を行いました。この経験を通じて得た知見を生かし、今後は、デジタル技術を活用し、議会の機能強化、危機管理体制の構築を進めてまいります。

そして、今年度より新たにスタートいたしました第七次総合計画の下、町民の皆さまのご意見を真摯に受け止め、住みよいまちづくりの実現を目指すとともに、信頼される開かれた議会運営に努めてまいります。さらに、議会議員一人ひとりが研鑽に努め、町当局との連携を深めながら、議員一同邁進してまいりますので、なお一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びに、本年が町民の皆さまにとりまして、希望に満ちた、健康で幸多き1年となりますよう心から祈念申し上げ、私の新年のごあいさつとさせていただきます。

令和8年1月 大野町議会議長 野村 光宣

1月は「家庭の日」普及実践強調月間です

～「家庭の日」を通して深めよう家族の絆～

県では、毎月第3日曜日を「家庭の日」として、明るく温かい家庭づくりを推進しています。この活動を一層推進するため、新しい年の出発に当たる1月を「家庭の日」普及実践強調月間として、普及実践を図っています。

◎強調月間の目標

「自立した青少年を育む心豊かで明るい家庭づくり」
「青少年と築く、開かれた地域づくり」

- ・家族そろって食事をし、団らんのひとときをもちましよう。
- ・家族みんなで力を合わせて家の仕事や作業をしましょう。
- ・家族みんなで地域の行事や活動に参加しましょう。

町青少年育成町民会議では「家庭の日」の普及実践を進めるため、小中学生の皆さんに対して啓発図画・ポスターを募集し、優れた作品に賞を授与したり、展示会を開いたりしています。

◎図画・ポスター展示会開催予定

期間 1月7日(水)～14日(水)

場所 総合町民センター1階 ふれあいギャラリー

内容 町児童生徒の県出品特選作品35点

中学生の部
(ポスター)
県入賞作品



県最優秀賞
「家族で行ったガッタンゴー」
揖東中学校1年 杉山梨那さん

県優秀賞
「ふるさとに帰ろう。」
大野中学校2年 宮川咲歩さん



小学生の部
(図画)
県入賞作品



県優秀賞「家ぞくでねこカフェ」
中小学校4年 廣瀬未優さん



県優秀賞「つりに行った日のぼんご飯」
南小学校4年 三間匠馬さん